



平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月13日

上場会社名 アップルインターナショナル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2788 URL http://apple-international.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 埴原 明彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 近藤 則明 TEL 059-347-3515
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

百万円未満切捨て

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績（平成24年1月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	13,992	△7.3	△111	—	△125	—	△63	—
23年12月期第2四半期	15,098	△28.5	235	△61.4	113	△79.6	△185	—

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 △94百万円 (—%) 23年12月期第2四半期 △6百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	△507.83	—
23年12月期第2四半期	△1,488.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	19,415	5,782	25.7
23年12月期	14,051	5,826	34.8

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 4,992百万円 23年12月期 4,888百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,269	6.7	693	84.1	456	—	97	—	778.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期2Q	124,614株	23年12月期	124,614株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	－株	23年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期2Q	124,614株	23年12月期2Q	124,614株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点に置いて、金融商品取引法に基づき四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、業況の変化により、予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項については、〔添付資料〕P3〔次期の見通し〕を覧下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は欧州における債務危機の回避や復興需要への期待などにより、一時景気回復への兆しを見せておりましたが、欧州債務危機の再燃、円高の長期化、中国をはじめとするアジア経済の減速感の強まりなど、景気全体の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、従来と同様、自動車市場の拡大が見込まれる中華人民共和国（以下「中国」という）を中心に東南アジア諸国及びその周辺国において、主に欧州メーカーブランドの商品によって多国間の貿易ルートを確認することにより自動車市場の流通の活性化と収益拡大に努めてまいりました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は13,992万円（前年同四半期比7.3%減）、営業損失は111百万円（前年同四半期は235百万円の営業利益）、経常損失は営業権譲渡益104百万円、支払利息134百万円を計上したこと等より125百万円（前年同四半期は113百万円の経常利益）、四半期純損失は63百万円（前年同四半期は185百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

日本国内における中古買取・販売事業につきましては、当第2四半期連結会計期間末の「アップル」フランチャイズ店舗数は202店（前連結会計年度末は204店舗）となりました。

また、東南アジア諸国を中心とした中古車輸出事業は、東日本大震災後のサプライチェーンの復旧に伴い仕入も正常に戻りつつありますが、為替相場が円高で推移したこともあり、売上高は前年同四半期と比較し93百万円減収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における日本の売上高は5,235百万円（前年同四半期比1.7%減）、営業利益は6百万円（前年同四半期は142百万円の営業損失）となりました。

②中国

中国汽車工業協会が平成24年7月に公表した1～6月の新車販売台数累計は、前年同四半期比2.9%増の960万台となりました。北京モーターショーで発表された新モデルの販売が全体の販売台数を底上げしたこともあり、米国の新車販売台数を上回り世界一を維持しましたが、景気減速やガソリン価格上昇等の影響で伸び率は前年同四半期の増加幅に比べ低迷しました。

なお、当社の主力商品であるメルセデスベンツについては、ダイムラーが平成24年7月4日に公表した中国国内の1～6月の新車販売台数累計は前年同四半期比7.8%増の9万9,391台となり、第2四半期としては過去最高を記録しました。中国国内における自動車市場は厳しい環境にあるものの、当社の主力商品の販売台数は堅調に推移しております。

しかし、値引き競争による1台あたり利益額の減少、広告宣伝費等の販売費の増加等があったことから、前年同四半期と比較し減収減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の中国の売上高は8,757百万円（前年同四半期比10.4%減）、営業損失は117百万円（前年同四半期は377百万円の営業利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①貸借対照表

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末（平成23年12月末）と比較して5,363百万円増加して19,415百万円となりました。

これは、現金及び預金が2,438百万円増加、売掛金が694百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して5,408百万円増加して13,632百万円となりました。

これは、短期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して44百万円減少して5,782百万円となり、自己資本比率は25.7%となりました。

②キャッシュフロー

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末（平成23年12月末）と比較して430百万円減少して1,388百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純損失152百万円となりましたが、売上債権の増加による支出659百万円、仕入債務の増加による収入594百万円があったことなどから、833百万円の支出（前年同四半期は456百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

定期預金の純増加額2,833百万円、有形固定資産の取得による支出295百万円、預け金の預入による支出1,130百万円があったことなどから、4,304百万円の支出（前年同四半期は398百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の増加による収入4,699百万円、長期借入金の増加による収入70百万円があったことなどから、4,707百万円の収入（前年同四半期は757百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の通期の連結業績予想につきましては、平成24年2月17日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 追加情報

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、税引前四半期純利益に法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表)

前連結会計年度まで連結貸借対照表の「受取手形及び売掛金」に含めて表示しておりました回収が長期に渡る営業債権について、その実態をより明瞭に表示するため、第1四半期連結会計期間より「長期営業債権」として表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結貸借対照表において「受取手形及び売掛金」に表示しておりました2,379,775千円は、「長期営業債権」として組み替えております。また、この変更に伴い、前連結会計年度の連結貸借対照表における流動資産の「貸倒引当金」の1,944,785千円及び「繰延税金資産」の146,325千円をそれぞれ投資その他の資産の「貸倒引当金」及び「その他」に組み替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前第2四半期連結累計期間において、総額表示していた「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「定期預金の預入による支出」及び「定期預金の払戻による収入」は、当第2四半期連結累計期間より「定期預金の純増減額（△は増加）」として純額表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「定期預金の預入による支出」に表示していた△602,698千円及び「定期預金の払戻による収入」に表示していた392,190千円は、「定期預金の純増減額（△は増加）」△210,507千円として組み替えております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,677,926	8,116,289
受取手形及び売掛金	1,306,795	2,001,396
商品及び製品	2,665,571	2,782,986
原材料及び貯蔵品	1,383	919
その他	1,481,853	3,047,784
貸倒引当金	△310,938	△369,249
流動資産合計	10,822,592	15,580,126
固定資産		
有形固定資産	983,220	1,003,453
無形固定資産	47,986	40,009
投資その他の資産		
長期営業債権	2,379,775	2,349,005
その他	2,837,426	3,451,768
貸倒引当金	△3,019,233	△3,008,987
投資その他の資産合計	2,197,967	2,791,786
固定資産合計	3,229,174	3,835,249
資産合計	14,051,767	19,415,375
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,229,387	1,845,419
短期借入金	5,562,095	10,298,086
1年内返済予定の長期借入金	109,728	118,088
未払法人税等	114,874	28,902
その他	804,690	842,262
流動負債合計	7,820,774	13,132,759
固定負債		
長期借入金	340,344	344,641
退職給付引当金	1,805	1,576
その他の引当金	—	10,839
その他	61,867	143,013
固定負債合計	404,016	500,071
負債合計	8,224,791	13,632,830

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,816,489	4,816,489
資本剰余金	165,687	165,687
利益剰余金	△227,513	△290,796
株主資本合計	4,754,663	4,691,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79,246	232,985
為替換算調整勘定	54,895	67,774
その他の包括利益累計額合計	134,141	300,760
少数株主持分	938,171	790,404
純資産合計	5,826,976	5,782,544
負債純資産合計	14,051,767	19,415,375

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	15,098,617	13,992,794
売上原価	13,605,235	12,977,438
売上総利益	1,493,381	1,015,355
販売費及び一般管理費	1,258,328	1,126,428
営業利益又は営業損失(△)	235,052	△111,072
営業外収益		
受取利息	7,174	4,278
受取手数料	4,859	7,250
保険代行収入	16,007	14,905
持分法による投資利益	21,513	—
為替差益	—	87,566
営業権譲渡益	—	104,761
その他	25,973	23,730
営業外収益合計	75,529	242,493
営業外費用		
支払利息	123,824	134,360
為替差損	43,722	—
貸倒引当金繰入額	19,000	98,024
その他	10,117	24,957
営業外費用合計	196,664	257,342
経常利益又は経常損失(△)	113,917	△125,921
特別利益		
固定資産売却益	1,402	256
関係会社株式売却益	10,000	—
特別利益合計	11,402	256
特別損失		
固定資産売却損	12,929	27,060
子会社株式売却損	23,278	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,045	—
その他	—	234
特別損失合計	44,253	27,295
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	81,065	△152,960
法人税等	113,913	22,622
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△32,847	△175,582
少数株主利益又は少数株主損失(△)	152,634	△112,299
四半期純損失(△)	△185,482	△63,283

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△32,847	△175,582
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,340	153,739
為替換算調整勘定	29,834	△44,155
持分法適用会社に対する持分相当額	19,665	△28,371
その他の包括利益合計	26,159	81,212
四半期包括利益	△6,688	△94,370
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△165,197	103,335
少数株主に係る四半期包括利益	158,508	△197,705

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	81,065	△152,960
減価償却費	74,010	92,370
貸倒引当金の増減額(△は減少)	190,855	△17,343
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△229	△228
受取利息及び受取配当金	△11,674	△9,734
支払利息	123,824	134,360
営業権譲渡益	—	△104,761
売上債権の増減額(△は増加)	74,282	△659,917
たな卸資産の増減額(△は増加)	△398,746	△74,400
仕入債務の増減額(△は減少)	242,372	594,362
前渡金の増減額(△は増加)	83,347	△168,896
未収入金の増減額(△は増加)	80,668	△279,287
未払金の増減額(△は減少)	95,772	55,786
その他	47,001	△47,120
小計	682,550	△637,769
利息及び配当金の受取額	12,465	9,629
利息の支払額	△129,209	△94,901
法人税等の支払額	△109,416	△110,532
営業活動によるキャッシュ・フロー	456,390	△833,574
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△210,507	△2,833,821
有形固定資産の取得による支出	△293,364	△295,425
有形固定資産の売却による収入	96,154	177,277
貸付けによる支出	—	△222,090
預け金の預入による支出	—	△1,130,800
その他	9,423	548
投資活動によるキャッシュ・フロー	△398,293	△4,304,311
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	460,231	4,699,647
長期借入れによる収入	460,000	70,000
長期借入金の返済による支出	△125,500	△57,343
社債の償還による支出	△30,000	—
配当金の支払額	—	△151
リース債務の返済による支出	△6,818	△4,218
その他	—	△289
財務活動によるキャッシュ・フロー	757,912	4,707,644
現金及び現金同等物に係る換算差額	780	△124
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	816,790	△430,367
現金及び現金同等物の期首残高	1,529,628	1,818,807
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,346,419	1,388,440

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年1月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	日本	中国	
売上高			
外部顧客への売上高	5,328,606	9,770,010	15,098,617
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	5,328,606	9,770,010	15,098,617
セグメント利益又は損失(△)	△142,700	377,753	235,052

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年1月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	日本	中国	
売上高			
外部顧客への売上高	5,235,578	8,757,216	13,992,794
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	5,235,578	8,757,216	13,992,794
セグメント利益又は損失(△)	6,545	△117,618	△111,072

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。